

編集後記

昨秋十一月号から、金田利子先生に「子育て支援」について連載していただいています。今月号には、その連携は、支援する―されるを越えて相互支援の関係になっていくところらに特徴があると書かれています。

そんな折に、「江東区子ども家庭支援センター」の見学会に参加しました。この施設は、「保育園を地域の子育てセンターにしよう」ということを早くから実践されてきた新澤誠治氏を所長として、昨年六月に開設されました。このような施設は区内にはまだ数箇所しかないようです。

区民館の三階でエレベーターを降

りるとそこはもうセンターの入り口でした。遊べる、授乳ができる、昼食がとれる、くつろげる、学べる、情報を得ることができ、ボランティア登録ができるなど、乳幼児と共に訪れる人へのいろいろな工夫がされていました。

新澤氏はこのセンターを（サービ
スをする―されるという場ではな
く）、“ふれあい・学びあい・支えあ
い・分かちあいのひろば”にしたい
とおっしゃっていました。この“ひ
ろば”という言葉には、場所とそこ
に集う人の両方が含まれているよう
でした。

集う場所があり、相互支援のイ
メージをもつ人がいて、その人がみ
んなを巻き込んで、それを実現して
いくのが子育て支援なのだと思います。
（A）

幼児の教育

第九十九巻 第九号

(二〇〇〇年九月号)

定価五五〇円(本体五二四円)

発行 平成十二年九月一日

編集兼発行人 田代和美

発行所 日本幼稚園協会

〒112-8601 東京都文京区大塚二―一―

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108-1860 東京都港区三田五―二―

発売所 株式会社 フレーベル館

〒113-8611 東京都文京区本駒込

六一―四一九

〒〇三―五三九五―六六一三(営業)

〒〇三―五三九五―六六〇四(編集)

振替 〇〇―一九〇―二一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所フレーベル館にお願いいたします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。